

逢妻 地域カルテ

2019年 12月版

逢妻 地域会議・拳母 支所

この地域について簡単にまとめると

■「これまで15年」と「これから15年」の人口推移

①人口	おおむね これまでの 15年間で (2000年→ 2015年)	1.0 倍で変化なし	→ おおむね これからの 15年間で (2015年→ 2030年)	1.0 倍で変化なし
②子ども		1.0 倍で変化なし		1.0 倍で変化なし
③若い世代(生産年齢)		0.9 倍に減少		1.0 倍で変化なし
④高齢者		2.4 倍に増加		1.2 倍に増加
⑤後期高齢者		2.2 倍に増加		2.1 倍に増加
⑥前期高齢者		2.6 倍に増加		0.8 倍に減少
⑦85歳以上		2.5 倍に増加		2.4 倍に増加
⑧③と⑥の負担		2.5 倍に増加		2.7 倍に増加
		2000年	2015年	2030年
⑦85歳以上	100人に	1人	2人	4人
⑨世帯あたり人口	1世帯に	2.51人	2.37人	2.37人
⑩18歳未満同居世帯	100軒に	27軒	24軒	25軒
⑪高齢者のみ世帯		5軒	13軒	15軒
⑫三世代同居世帯		7軒	6軒	5軒

■その他地域カルテから言える特徴的な点

地域の歴史・文化・まちづくりへの誇りや愛着	が	全市と比較して低い (p.12のFのグラフ)
地域会議の認知度		全市と比較して低い (p.13のグラフ)
交通事故発生件数		3年連続で減少している (p.8の表)

目次

この地域について簡単にまとめると	1
概要	3
人口推移等	4
健康福祉	8
安全安心（防犯・交通安全・防災）	8
地域住民のまちに対する意識	9
地域住民のまちづくりへの参加	10
地域自治システムの運用状況	13

地域カルテとは

- ・地域の特徴を中学校区ごとにまとめたもので、地域住民（地域会議）と事務局（各支所）が共働で作成し、毎年度更新を行っています。
- ・このカルテでは、地域が
 - 「①今どういった状況（概況）なのか」
 - 「②将来どのようになるのか（※人口についてのみ）」
 - 「③地域の自治（自分たちでまちづくりを行うこと）に対する意識」を把握することができますので、地域課題の発見にぜひご活用ください。

概要



逢妻地域は豊田市西部に位置している。地域を複数の国道・県道などが縦横断し、主要幹線道路や東名高速道路などにもアクセスしやすいことから、自動車交通量が非常に多い。中心市街地からも比較的近く、大型スーパーや東名高速道路豊田ICがあるので、利便性の高い地域である。また、住宅地や工業用地が多い一方で、地域を縦断するように逢妻女川がのどかに流れ、田園風景が広がる自然豊かなエリアも混在していることから、農業・商業・工業と多彩な表情を見せるまちである。また、地域の北部には2つの大学と1つの高等学校がある。

(平成31年4月1日現在)

面積	12.04 km ²	(市比 1.3%)	[市 918.32 km ²]
人口密度	2,533 人/km ²	(市比 547.0%)	[市 463 人/km ²]
人口	30,495 人	(市比 7.2%)	[市 425,340 人]
	男性 16,711 人	(市比 7.5%)	[市 222,461 人]
	女性 13,784 人	(市比 6.8%)	[市 202,879 人]
うち外国人人口	1,622 人	(市比 9.1%)	[市 17,735 人]
世帯数	14,088 世帯	(市比 7.8%)	[市 181,418 世帯]
平均年齢	41.96 歳	(市比 △1.1歳)	[市 43.06 歳]

■都市基盤

主要道路	公共交通
東名高速道路豊田ICがあるほか、国道(153号、155号)、愛知県道76号豊田安城線、愛知県道284号宮上知立線などがある	名鉄バス(豊田西市内線、星ヶ丘・豊田線(新屋経由・衣ヶ原経由))、近距離高速バス(名古屋・豊田線)、空港バス(豊田空港線)
公共施設	医療機関
大学(2)、高校(1)、中学校(1)、小学校(2)、こども園等(4)、交番・駐在所(2)、消防署等(1)	病院(1)：衣ヶ原病院 医科(11)：さはし内科、柿本クリニック、久保田クリニック、うめだクリニック、栗田クリニック、なかね整形外科、もつまち内科クリニック、もりもりこどもクリニック、加藤内科医院、ふじしま内科、逢妻クリニック 歯科(8)：元町歯科、みどり歯科クリニック、ゲンシ歯科、あかつき歯科医院、永田歯科医院、新谷歯科医院、あいづま歯科こども歯科、宮上歯科医院
西部コミュニティーセンター、逢妻交流館、西部体育館、豊田ほっとかん、公設地方卸売市場	

■地域資源

観光資源
逢妻女川、彼岸花、コスモス、龍寿院の子宝地藏、トヨタ自動車元町工場の「ひらどつじ」、福寿院の名木「クロガネモチ」
特産品
お米
イベント
行者まつりのチャラボコ(7月)、逢妻女川クリーン活動(9月)、逢妻ふれあいまつり(10月)、鎌田流宗家棒の手の奉納(10月)

人口推移等

	1995年		2000年		2005年		2010年	
計	26,755		27,968		29,554		28,961	
男女	14,964	11,791	15,394	12,574	16,556	12,998	15,557	13,404
2015年比	96	87	98	93	106	96	100	99
0-14歳	4,560		4,399		4,370		4,395	
男女	2,290	2,270	2,236	2,163	2,273	2,097	2,283	2,112
15-64歳	20,479		21,206		21,976		20,361	
男女	11,917	8,562	12,110	9,096	12,785	9,191	11,291	9,070
高齢者数	1,716		2,363		3,208		4,205	
率(人口比)	6.4%		8.4%		10.9%		14.5%	
後期高齢者数	588		884		1,230		1,468	
男女	230	358	335	549	478	752	569	899
率(同)	2.2%		3.2%		4.2%		5.1%	
65-74歳	1,128		1,479		1,978		2,737	
男女	527	601	713	766	1,020	958	1,414	1,323
率(同)	4.2%		5.3%		6.7%		9.5%	
85歳以上	89		194		288		373	
男女	34	55	62	132	78	210	98	275
2015年比	24	16	43	38	54	61	68	79
率(同)	0.3%		0.7%		1.0%		1.3%	
総世帯数	10,436		11,062		12,809		11,994	
一般世帯数	10,411		11,032		12,472		11,984	
世帯当たり人数	2.55		2.51		2.35		2.41	
6歳未満同居	1,287		1,372		1,385		1,308	
18歳未満同居	3,129		2,990		2,939		2,973	
率(全世帯比)	30.1%		27.1%		23.6%		24.8%	
65歳以上単身	126		274		443		465	
65歳以上夫婦	169		330		527		547	
高齢者のみ世帯	295		604		970		1,012	
率(同)	2.8%		5.5%		7.8%		8.4%	
三世帯同居	986		821		848		788	
三世帯同居率	9.5%		7.4%		6.8%		6.6%	
75歳以上 要介護3以上							135	
75歳以上 要介護1-2							151	
75歳以上 要支援1-2							62	

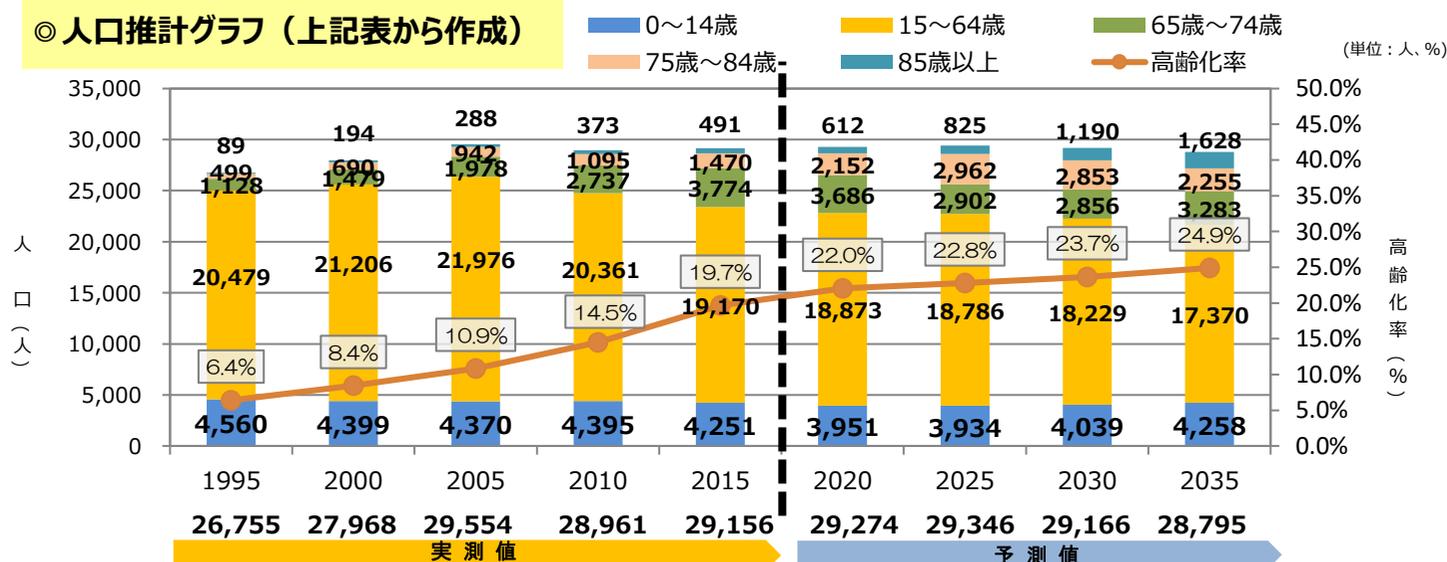
◎ 2015年を「100人の村」に換算すると・・・

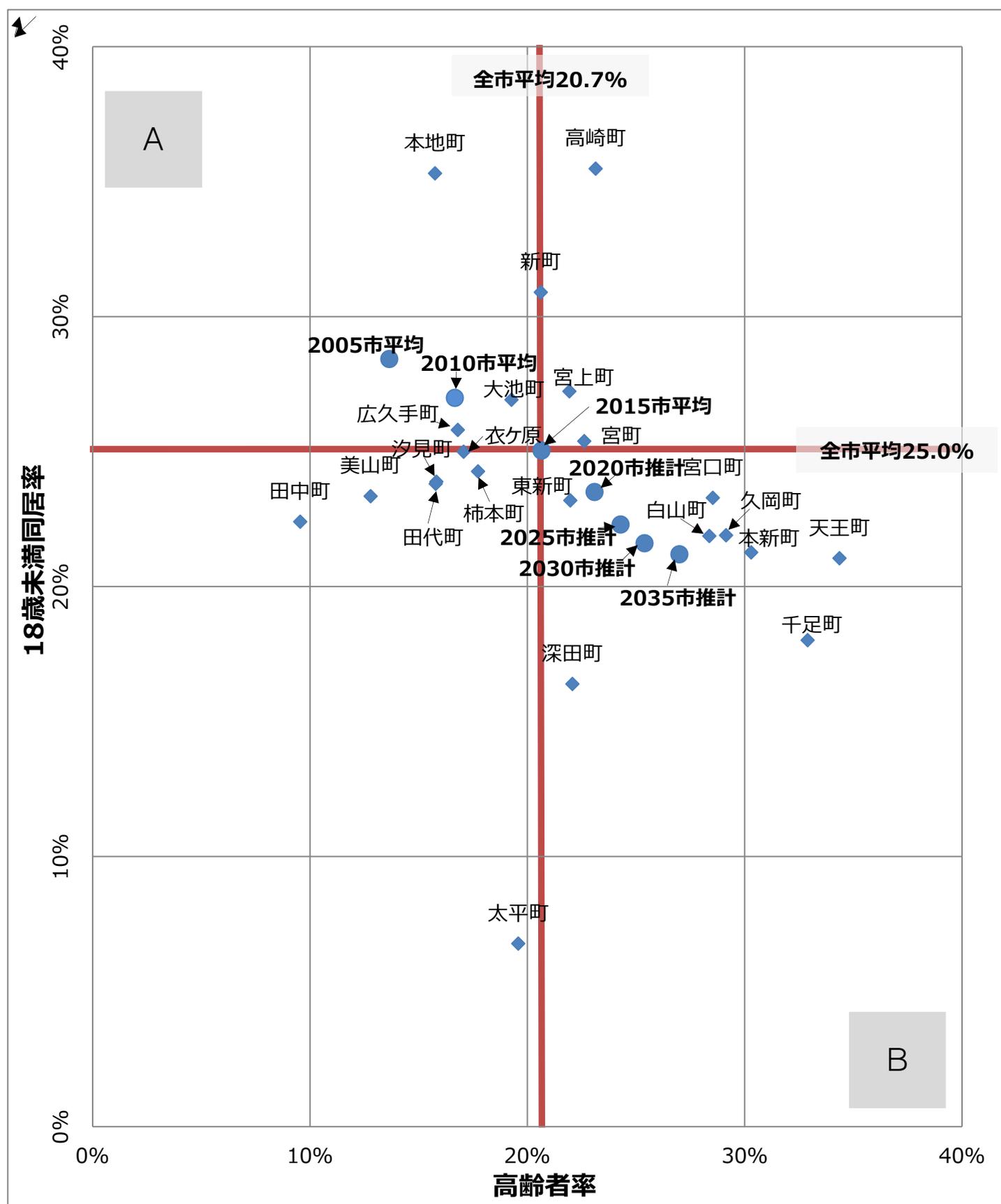
	1995年	2005年	2015年	2025年 (推計)	2035年 (推計)
総数	92	101	100	101	99
0-14歳	16	15	15	13	15
15-64歳	70	75	66	64	60
65歳以上	6	11	20	23	25
地域活動の ボリュームゾーン					
65-74歳(A)	4	7	13	10	11
75歳以上	2	4	7	13	13
何らかのお手伝い が必要な年齢層					
85歳以上(B)	0	1	2	3	6
何人で1人の お手伝いをするか					
(A) ÷ (B)	-	7	7	3	2

出典：国勢調査を基にコーホート変化率法を用いて推計

2015年		2020年（推計）		2025年（推計）		2030年（推計）		2035年（推計）	
29,156		29,274		29,346		29,166		28,795	
15,630	13,526	15,539	13,735	15,432	13,914	15,145	14,021	14,734	14,061
100	100	99	102	99	103	97	104	94	104
4,251		3,951		3,934		4,039		4,258	
2,183	2,068	1,999	1,952	1,913	2,021	1,915	2,124	1,973	2,285
19,170		18,873		18,786		18,229		17,370	
10,714	8,456	10,533	8,340	10,446	8,340	10,084	8,145	9,489	7,881
5,735		6,450		6,689		6,898		7,166	
19.7%		22.0%		22.8%		23.7%		24.9%	
1,961		2,764		3,787		4,043		3,883	
822	1,139	1,210	1,554	1,642	2,145	1,661	2,381	1,545	2,338
6.7%		9.4%		12.9%		13.9%		13.5%	
3,774		3,686		2,902		2,856		3,283	
1,911	1,863	1,796	1,890	1,431	1,471	1,484	1,371	1,727	1,557
12.9%		12.6%		9.9%		9.8%		11.4%	
491		612		825		1,190		1,628	
144	347	183	429	272	554	405	784	533	1,094
100	100	127	124	189	160	282	226	370	315
1.7%		2.1%		2.8%		4.1%		5.7%	
12,273		12,148		12,190		12,036		11,850	
12,264		12,302		12,387		12,326		12,191	
2.37		2.38		2.37		2.37		2.36	
1,220		1,153		1,058		1,013		997	
2,960		2,994		2,941		3,022		3,196	
24.1%		24.3%		23.7%		24.5%		26.2%	
697		757		797		817		851	
876		967		1,035		1,071		1,123	
1,573		1,724		1,832		1,889		1,974	
12.8%		14.0%		14.8%		15.3%		16.2%	
704		674		644		624		605	
5.7%		5.5%		5.2%		5.1%		5.0%	
196		248		340					
186		303		416					
112		226		309					

◎人口推計グラフ（上記表から作成）





A・・・子ども・子育て支援活動が重要な地域
 B・・・健康づくり・くらしを支える活動が重要な地域

■住居

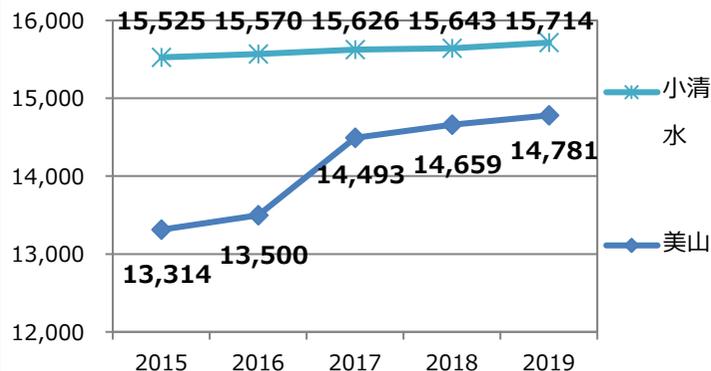
出典：最新年度国勢調査

一般世帯数	12,264 世帯 (100.0%)	給与住宅	196 世帯 (1.6%)
持ち家	6,875 世帯 (56.1%)	間借り	88 世帯 (0.7%)
公営等の借家	502 世帯 (4.1%)	住宅以外	652 世帯 (5.3%)
民営の借家	3,951 世帯 (32.2%)		

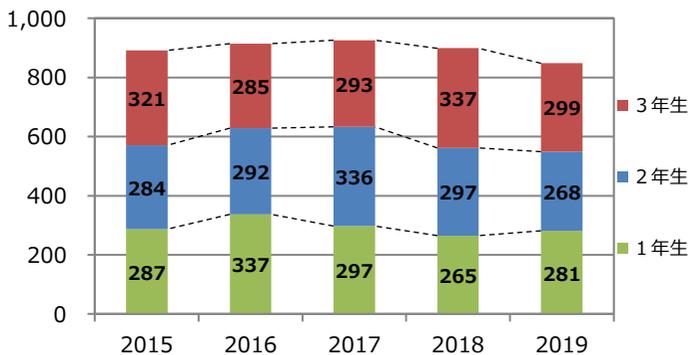
■学校区別データ

出典：住民基本台帳（各年4.1時点）、学校基本調査等（各年5.1時点）

小学校区別人口

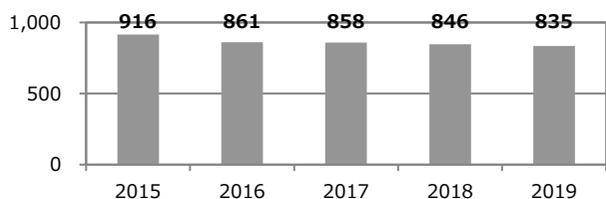


中学校生徒数

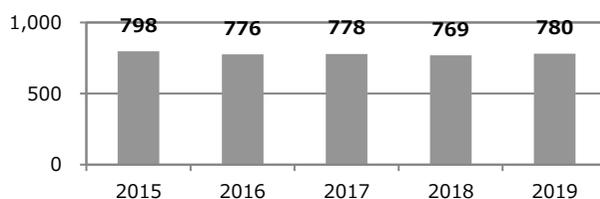


小学校児童数（単位：人）

①小清水小学校区



②美山小学校区



健康福祉

■健康・福祉

出典：地域健康カルテ

		2017		2016		2015		
介護保険認定者		686 人	[市 13,045 人]	755 人		788 人		
		12.2 %	[市 14.0 %]	12.9 %		13.1 %		
		2017		2016		2015		
市 国 民 健 康 保 険 特 定 健 康 検 査 (対象40〜76歳)	BMI (25以上)	男性	23.4 % [市 26.4 %]	26.1 %		26.9 %		
		女性	21.3 % [市 20.6 %]	21.2 %		22.9 %		
	HbA1c ※糖尿病の検査項目 (5.6%以上)	男性	55.1 % [市 68.1 %]	61.0 %		65.0 %		
		女性	58.9 % [市 67.7 %]	69.2 %		70.0 %		
	LDLコレステロール (120mg/dl以上)	男性	48.6 % [市 48.9 %]	49.2 %		47.2 %		
		女性	60.5 % [市 57.6 %]	60.9 %		58.6 %		
	収縮期血圧 (130mmHg以上)	男性	43.2 % [市 47.4 %]	43.6 %		44.2 %		
		女性	41.4 % [市 42.8 %]	41.0 %		44.3 %		
	問診			男性 (2017年)		女性 (2017年)		
		喫煙者		20.2 % [市 20.7 %]	3.8 %		3.6 %	
		20歳から10kg以上の体重増加		38.8 % [市 39.7 %]	28.0 %		24.8 %	
		運動習慣なし		48.9 % [市 49.1 %]	56.7 %		56.1 %	
		身体活動なし		45.3 % [市 44.5 %]	46.8 %		46.9 %	
		夕食後の間食		14.8 % [市 13.4 %]	14.9 %		16.5 %	
朝食欠食		7.5 % [市 6.5 %]	4.6 %		3.7 %			
飲酒習慣		68.0 % [市 62.8 %]	22.5 %		23.4 %			
生活習慣の改善意思なし		44.1 % [市 44.7 %]	41.5 %		42.6 %			

安全安心 (防犯・交通安全・防災)

■防犯

出典：愛知県警察本部提供データ

身近な犯罪の認知件数	2018	65 件 (ワースト 7 位) [市 917 件]			
		① 自転車盗 19 件	② 侵入盗 15 件	③ 部品狙い 14 件	
	2017	72 件 (ワースト 6 位) [市 1,166 件]			
		① 自転車盗 28 件	② 侵入盗 15 件	③ 車上狙い 13 件	
	2016	72 件 (ワースト 7 位) [市 1,178 件]			
		① 自転車盗 25 件	② 侵入盗 20 件	③ 部品狙い 11 件	

■交通安全

出典：愛知県警察本部提供データ

交通事故発生件数	2018	122 件 (ワースト 4 位) [市 1,565 件]		
		人対車 11 件	車対車 111 件	その他 0 件
	2017	137 件 (ワースト 5 位) [市 1,866 件]		
		人対車 10 件	車対車 126 件	その他 1 件
	2016	149 件 (ワースト 5 位) [市 2,006 件]		
		人対車 8 件	車対車 138 件	その他 3 件

■防災

出典：福祉総合相談課、防災対策課所有データ

避難行動要支援者名簿	対象者数 571 人 (同意者数 430 人 同意率 75 %)	[市 8,120 人 (6,305 人 / 77.6 %)]
------------	-------------------------------------	-----------------------------------

地震被害予測

※1 過去地震最大モデル (冬夕方発災)

※3「*」は0.1%未満

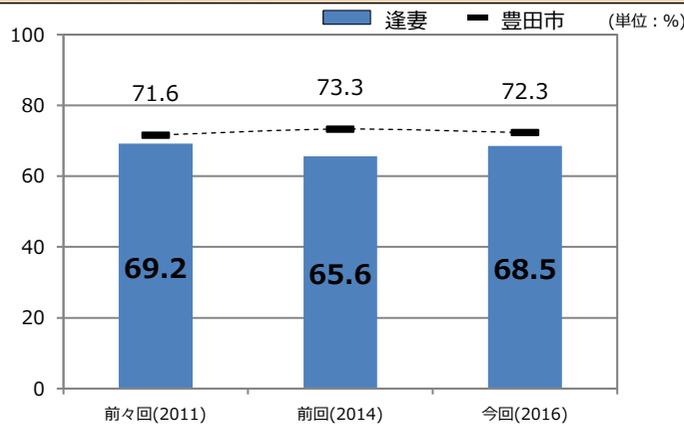
※2 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

震 度 面 積 率	7	0.0 % [市 0.0 %]	建 物 被 害	全壊・焼失	35 棟 [市 677 棟]
	6強	0.0 % [市 * %]		揺れ	31 棟 [市 502 棟]
	6弱	100.0 % [市 23.2 %]		液状化	0 棟 [市 25 棟]
	5強	0.0 % [市 76.8 %]		急傾斜地	0 棟 [市 108 棟]
	5弱以下	0.0 % [市 0.0 %]		火災	3 棟 [市 41 棟]
人 的 被 害	死者数	1 人 [市 27 人]		半壊	278 棟 [市 4,813 棟]
	重傷者数	5 人 [市 66 人]		揺れ	274 棟 [市 4,405 棟]
	軽症者数	28 人 [市 492 人]		液状化	3 棟 [市 155 棟]
避難者数 (1週間後)	3,217 人 [市 47,345 人]			急傾斜地	1 棟 [市 253 棟]

地域住民のまちに対する意識

豊田市の住みよさ満足度

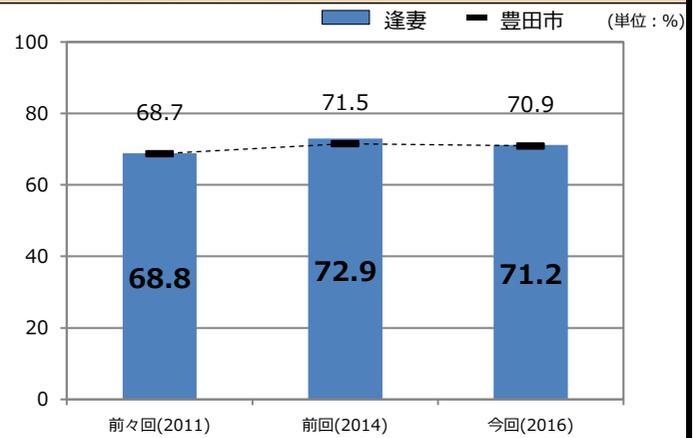
出展：市民意識調査



※選択肢「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の合計

今住んでいるところへの定住意識

出展：市民意識調査



※選択肢「今のところに住みたい」

市の施策満足度（地域の満足度が高い順）

出典：市民意識調査

満足度	第1位		第2位		第3位	
18・19及び20歳代	企業活動の活性化	5.55	スポーツ環境の充実	4.70	芸術・文化活動の促進	4.68
30歳代	企業活動の活性化	5.78	食生活の安心	5.20	子育て支援の充実	5.19
40歳代	企業活動の活性化	5.50	医療提供体制の充実	5.30	子育て支援の充実	5.15
50歳代	企業活動の活性化	5.06	水辺環境等の水資源の確保	4.88	消防・救急体制の充実	4.82
60歳代	企業活動の活性化	5.27	消防・救急体制の充実	4.88	医療提供体制の充実	4.71
70歳代以上	企業活動の活性化	5.65	消防・救急体制の充実	5.20	医療提供体制の充実	5.17
地区内全年代	企業活動の活性化	5.43	医療提供体制の充実	4.91	消防・救急体制の充実	4.87
(参考) 全市	企業活動の活性化	5.32	医療提供体制の充実	4.93	消防・救急体制の充実	4.93

※満足度を1～7の7段階で評価した平均値

地域課題（地域の課題認識が高い順）

出典：地域自治システム評価アンケート（地域支援課）

課題度	第1位		第2位		第3位	
20歳代	医療の充実	64.3%	公共交通機関の充実	57.1%	交通安全対策の推進	50.0%
30歳代	子育ての支援の充実	42.3%	医療の充実	42.3%	生活道路・交通をスムーズにすること	42.3%
40歳代	豊かな自然環境の保全	59.4%	医療の充実	50.0%	生活道路・交通をスムーズにすること	50.0%
50歳代	生活道路・交通をスムーズにすること	65.2%	交通安全対策の推進	60.9%	子育ての支援の充実	47.8%
60歳代	交通安全対策の推進	59.4%	医療の充実	53.1%	買い物の不便の解消	53.1%
70歳代以上	豊かな自然環境の保全	51.1%	住民同士の交流の場や機会の拡充	51.1%	交通安全対策の推進	48.9%
地区内全年代	交通安全対策の推進	50.0%	医療の充実	45.5%	生活道路・交通をスムーズにすること	45.5%
(参考) 全市	交通安全対策の推進	53.9%	医療の充実	47.2%	生活道路・交通をスムーズにすること	45.4%

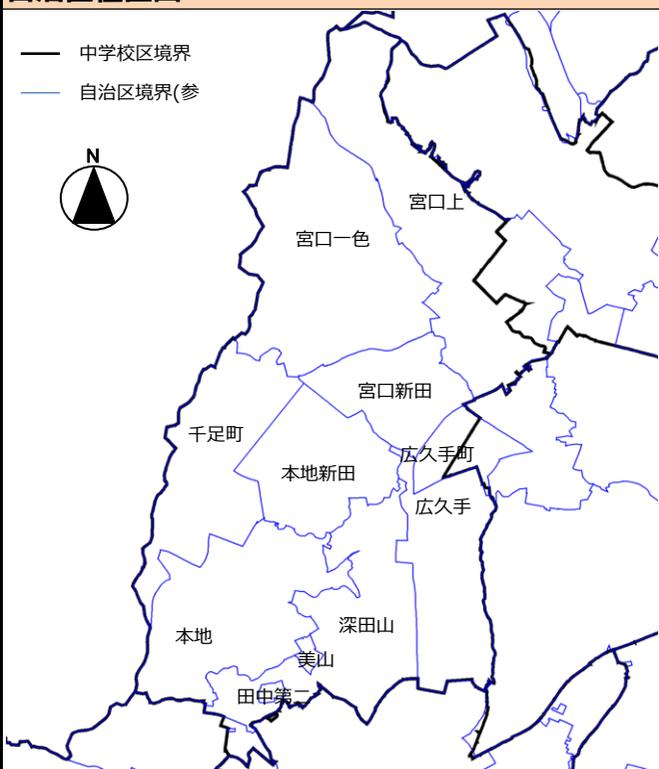
※「思う」「どちらかといえば思う」の合計

地域住民のまちづくりへの参加

■自治区やNPO等の活動状況

出典：地域支援課所有データ等

自治区位置図

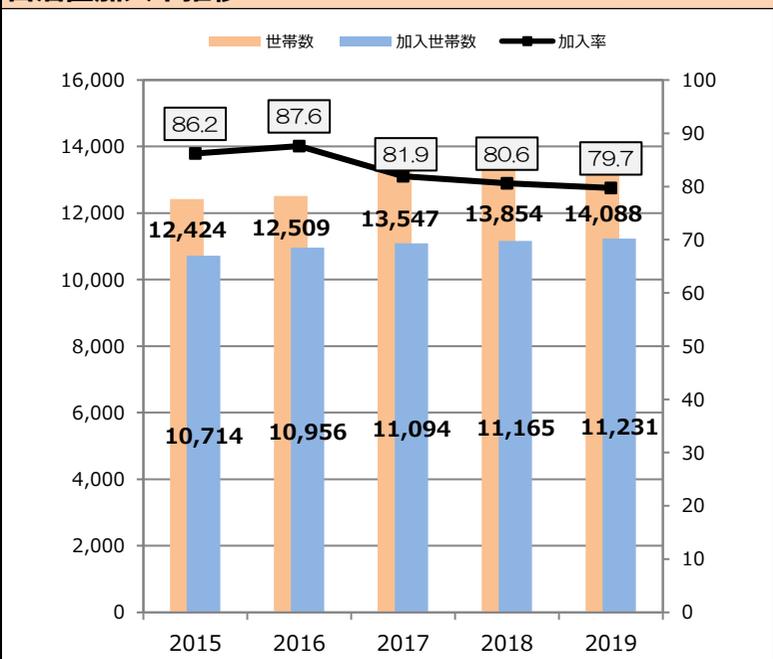


自治区加入率

加入率	79.7	%	加入世帯数	11,231	世帯
[市]	80.9	%]	住基世帯	14,088	世帯

自治区加入率推移

(単位：世帯、%)



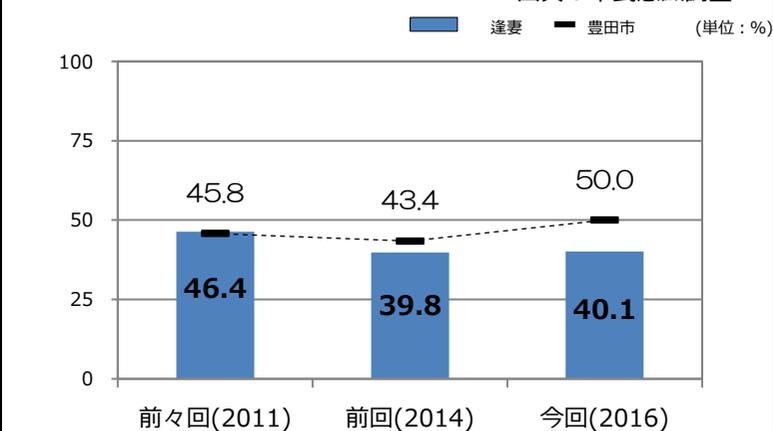
自治区一覧

自治区名	世帯数	組数	回覧数
宮口上	1,802	112	120
宮口一色	791	41	58
宮口新田	816	41	58
本地新田	1,143	36	53
千足町	587	25	35
本地	1,850	44	100
深田山	3,016	133	270
美山	76	8	11
広久手	323	37	40
広久手町	700	46	46
田中第二	127	11	15
合計	11,231	534	806

※世帯数は自治区から報告されたものであり隣接した中学校区の一部を含む場合あり

自治区・地域活動への参加

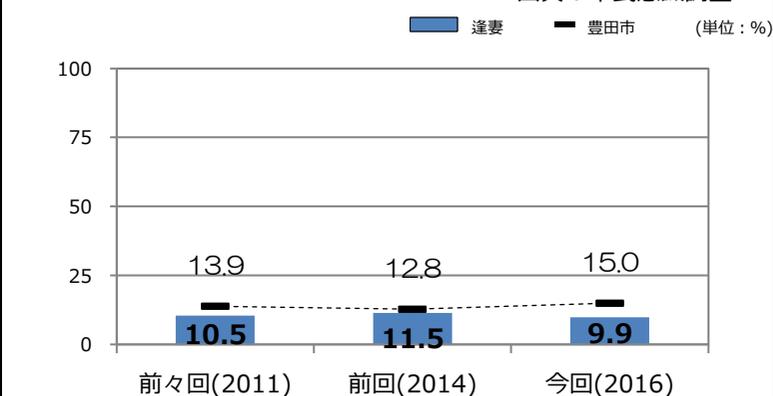
出典：市民意識調査



※「よく参加している」「ときどき参加している」の合計

NPO・ボランティア活動への参加

出典：市民意識調査



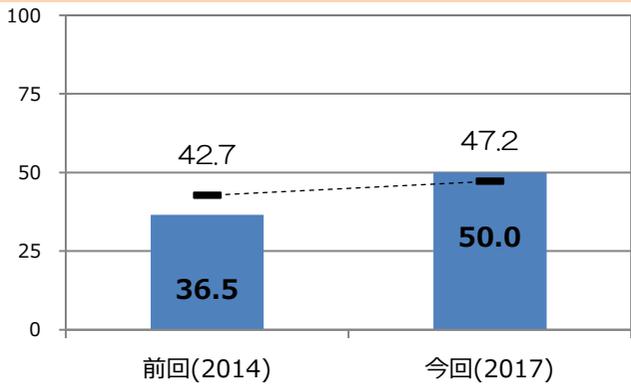
※「継続的に参加している」「ときどき参加している」の合計

NPO・ボランティア活動の状況										
健康	交流館自主グループ	10 団体	わくわく事業関連団体	団体	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体		
	スポーツ推進委員	6 名	ヘルスサポートリーダー	18 名	民生委員児童委員	33 名	お元気ですかボランティア	名		
	高齢者クラブ	9 団体	その他団体	団体	ささえあいネット	5 団体	その他団体	団体		
	活動例：【ヘルサポ】		交流館祭では、日本赤十字豊田看護大学と共働による健康チェックを実施するほか、ボランティア団体主催事業として、高齢者を対象に軽い運動やレクリエーションを行う出前講座を年1回実施している。				活動例：【そよ風カフェ】【介護予防教室】		認知症の方とその家族、地域住民のだれでも気軽に集うことができるカフェや高齢者クラブ、サロン向けの介護予防教室を年に数回開催。	
【ほっとかんクラブ】		高齢者の健康維持サポートを実施している。				【地域バス】		豊田ほっとかんの空き車両を活用した送迎車両の運行を試験的に開始。		
コメント：交流館の自主グループ以外に、逢妻女川の堤防をウォーキングするなど、健康づくりへの意識は高い地域である。						コメント：老人ホーム、温泉、デイサービス、コミセンが入った複合施設があり、福祉サービスを利用しやすい環境である。				
観光・産業	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	2 団体	交流館自主グループ	27 団体	わくわく事業関連団体	団体		
	その他団体	団体	—	—	その他団体	団体	—	—		
	活動例：【逢妻女川彼岸花育成会】		逢妻女川の男橋～天王橋までの両岸で、彼岸花の植栽・株分けや草刈など、景観の維持管理を行っているほか、毎年9月末には、地域住民のみならず、県内外からも多くの人々が真っ赤に色付いた200万本近くの彼岸花を見に訪れるようになり、地域が活性化されている。				活動例：【宮口棒の手保存会】		鎌田流宗家の棒の手は、「拳母の棒の手」が昭和33年に愛知県無形文化財に指定されたのと同時に、「宮口棒の手保存会」が発足された。宮口神社の祭礼で奉納演技を披露するほか、地域のお祭りなどでも演技披露するなど、伝統芸能継承に力を入れている。	
	コメント：団体は高齢化が進み、後継者不足に悩んでいる。活動に対する担い手育成が今後の課題である。						コメント：有形無形の貴重な文化財や技を後世まで受け継ぎ、保存継承していく意識が強い地域である。			
環境・景観	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	4 団体	交流館自主グループ	団体	わくわく事業関連団体	団体		
	その他団体	団体	—	—	自主防犯団体	14 団体	自主防災会	団体		
	活動例：【コスモスクラブ千足】		地域内の休耕田を活用して、千足町地域住民と共にコスモス栽培を行い、地域交流、連帯感、地域活性化を図っている。毎年10月には自治区共催のウォーキング大会などを行い、コスモスによる潤いのある景観づくりをおこないながら、地域の活性化を図っている。				活動例：【逢妻地区防犯パトロール「あいづままる隊」】		児童の登下校時の見守り活動のほか、自動車に青色回転灯を装着して地域内の公園や住宅地を巡回パトロールしている。	
	コメント：自然が多い地域だからこそ、景観づくりへの意識が高い住民が多いが、活動に対する担い手育成が今後の課題。						また、隊員による住宅の防犯診断を行うなど、パトロールに限らず犯罪抑止につながる活動を率先して行っている。		コメント：地域全体として防犯への意識は高く、自主防犯団体が積極的にパトロールを行っている。	
子ども の健全 育成	交流館自主グループ	3 団体	わくわく事業関連団体	1 団体	交流館自主グループ	1 団体	わくわく事業関連団体	団体		
	主任児童委員	3 名	放課後児童クラブ	2 団体	その他団体	団体	—	—		
	活動例：【広久手町太鼓クラブ あいづま鼓】		地域で継承される「早川流やぐら和太鼓」を子ども達に伝承し、さまざまなイベントで演奏を披露している。				活動例：【逢妻女川を考える会】		逢妻地区のシンボルである逢妻女川をきれいに保つために、草刈り・ゴミ拾いなどを毎週行ったり、特定外来生物の駆除や外来生物の捕獲調査を行っている。	
	小学生～高校生まで、年代の異なる子ども達とのコミュニケーションや、地域の方々との交流を通じて、子ども達の健全育成につながっている。						また、きれいになった逢妻女川が地域の交流の場となるように、親子体験教室や生き物観察会なども行っている。		コメント：	
コメント：交流館の子育てサークルも盛んに行われているが、地域に伝わる伝統芸能を通じて健全育成も図られている。										
その他 1	【逢妻女川クリーン活動】		逢妻女川を美しく、豊かな水を取り戻し、流域に住む住民の生活環境の改善のために、昭和54年に環境美化活動の一環として始まった「逢妻女川クリーン活動」。				【小清水ふれあい朝市】		地域の活性化や住民同士のふれあいの場を作るために、宮口神社境内にて、毎月2回、軽トラふれあい朝市を開催。主な活動としては、地域住民が生産した新鮮野菜や加工品等を販売したり、地域の郷土芸能、伝統文化の紹介を行ったりしている。	
	今ではコミュニティ会議活動メイン事業の一つとして、自治区住民、学校、子ども会、地域企業を巻き込んだ行事となっている。		主な活動内容としては、逢妻女川左岸の草刈活動を実施するほか、小学生による生き物の捕獲・観察、中学生の水質調査などの環境学習活動、写生大会や川底歩き、消防団による放水実演等が行われ、環境美化活動だけでなく、住民同士の大切な交流の場、環境学習の場、子ども達に地域を愛する気持ちを伝える場となっている。				【逢妻カフェ】		交流館事業として、年に数回「逢妻カフェ」を開催している。主な出演者は、交流館の自主グループや地域住民であり、住民同士が気軽に交流できるふれあいの場となっている。	
コメント：長年続く逢妻女川クリーン活動も、地域にしっかり浸透しており、参加者全員が環境美化意識が高まっている。						コメント：自主グループや交流館等が積極的に住民同士のふれあいの場の提供活動を行い、地域の活性化につながっている。				

■ 地域活動に対する地域住民の意識（自治力）

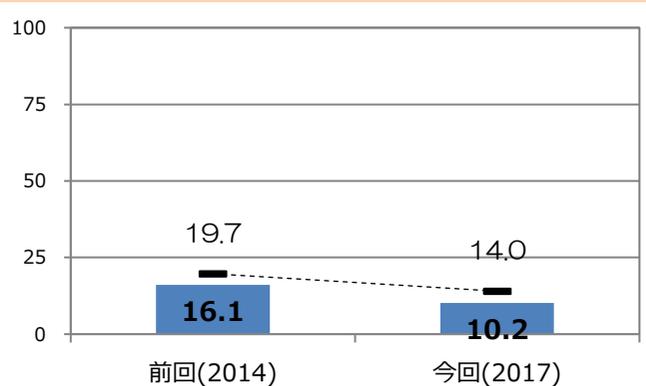
逢妻 豊田市 (単位：%)

A. 住民参加型のまちづくりが進められていると思うか



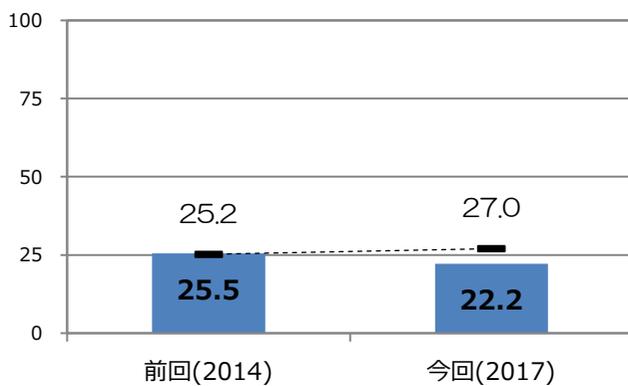
※「思う」「どちらかといえば思う」の合計

B. 地域会議が地域の意見を集約できていると思うか



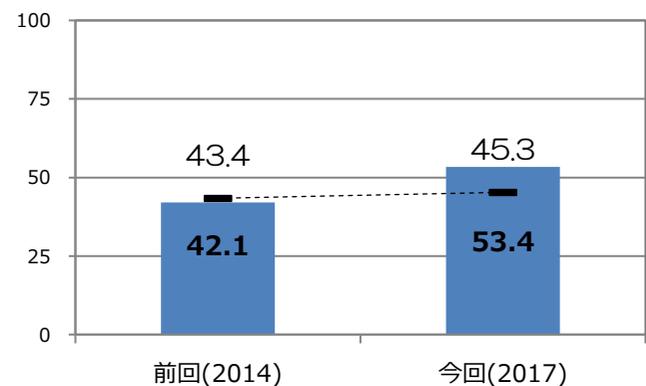
※「思う」「どちらかといえば思う」の合計

C. わくわく事業へ参加したいと思うか



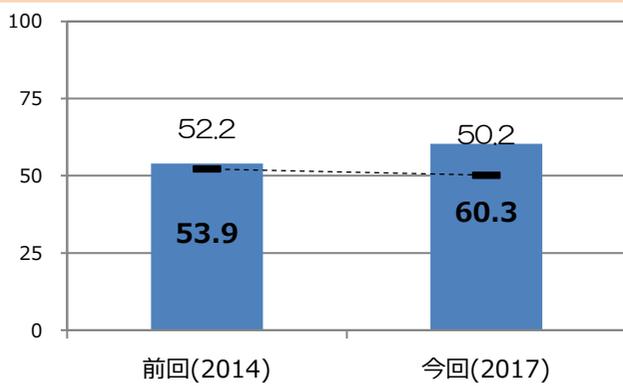
※「参加したい・している」「きっかけがあれば参加したい」の合計

D. わくわく事業の活動が地域のためになっていると思うか



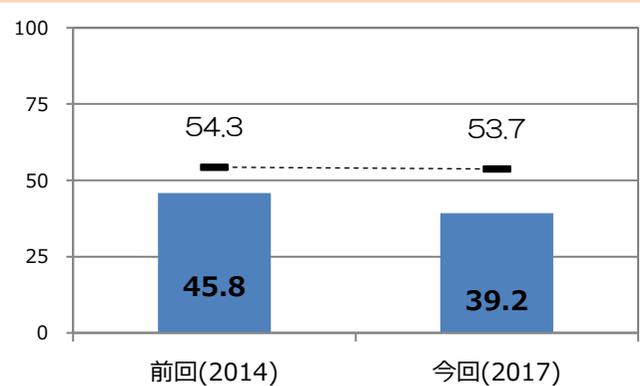
※「思う」「どちらかといえば思う」の合計

E. 地域予算提案事業の活動が地域のためになっていると思うか

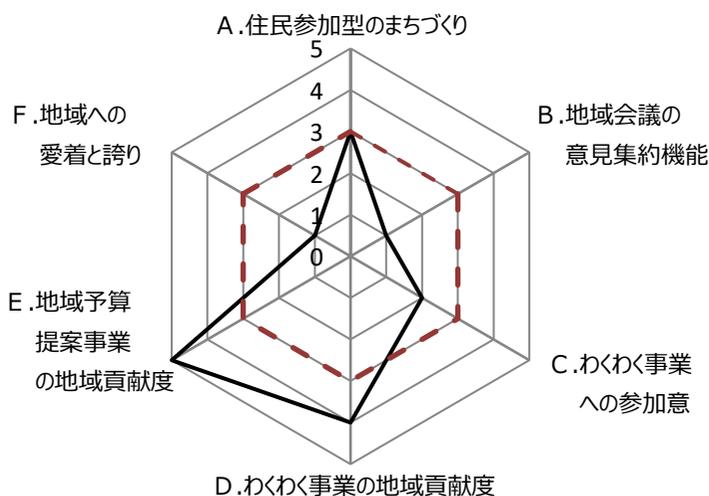


※「思う」「どちらかといえば思う」の合計（複数事業の平均値）

F. 地域の歴史・文化・まちづくりへの誇りや愛着の有無



※「持っている」「どちらかといえば持っている」の合計



逢妻 豊田市

採点基準

- 5 … 市平均の1.2倍以上
- 4 … 市平均の1.1倍以上～1.2倍未満
- 3 … 市平均の0.9倍以上～1.1倍未満
- 2 … 市平均の0.8倍以上～0.9倍未満
- 1 … 市平均の0.8倍未満

出展：地域自治システム評価アンケート

逢妻 地域カルテ

2019 年 12 月版

発行： 逢妻 地域会議・ 拳母 支所

問合せ： 拳母 支所 （ 逢妻 地域会議事務局）

〔電話 0565-34-6629 〕

〔Eメール chiikishien@city.toyota.aichi.jp 〕